やこう
学校だより　令和５年度１０月号
令和５年９月２９日
横浜市立矢向小学校
ホームページアドレス
www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/

主体的に行動する力

校長　沼田　留美子

先日学校に一本の電話がかかってきました。地域にお住まいの方からでした。お話を伺うと、「道で転んで、意識を失ってしまった。その時下校時で通りかかった 6 年生 4 名が、助けてくれたので、お礼を伝えたい。」という内容でした。よくよく話を聞いてみると「子どもたちが倒れたのを見て、すばやくかけより、近くにある学童に駆け込み助けを求め、近隣の地域の方が救急要請をしてくれた。」ということでした。けがをされた方は病院で治療を受け、すっかり元気になり、その時言えなかったお礼を言いたいと来校され、児童と対面しました。「元気になってよかったです」と 6 年生が声をかけると、その方は「ありがとう」と嬉しそうな表情を見せていました。

9 月の代表委員会では、「80 周年記念ケーキの学年テーマを考えよう」という議題で、どんな言葉をケーキに刻んでいくかを話し合いました。「矢向小のよいところ」「矢向のまちのよいところ」「矢向小の歴史」「80 周年キャラクター」「矢向小の大事にしている挨拶・思いやり」「感謝」「桜」「ホタル」など全校から集められた案をもとに学年ごとに分担していきました。「1 年生は学校探検をよくしているから学校のよいところがわかりやすいのでは。」など、各クラス、委員会の代表が、様々な学年の様子を思い浮かべながら、活発に意見を交わし、時間内に分担を決めることができました。すてきなケーキが 11 月 11 日（土）の児童式典で披露されることでしょう。

矢向小学校の学校教育目標「わたしが　みんながかがやく　矢向の森」を具現化するために、本校で育てる資質・能力を「主体的に行動する力」と設定しています「主体的」の意味を調べてみると「自分自身の意志や判断に基づいて行動を決定する様子」と書かれていました。今回の出来事と重なるところがあります。それは、「自分自身の意志や判断で。」「助けよう。」ととっさに体が動いたことです。これは大人でも難しいことだと思います。相手のことを想って、自分から行動できる子どもが矢向小学校にいるということは、誇りに思います。また、今年は 80 周年をお祝いする取組が校内でも進んでいます。取り組む時も、相手の気持ちになって物事を考えることで、「何かお手伝いできることはありませんか。」「私もやってみます。」などの声が聞かれると周りも気持ちよく取り組めます。これは、簡単なようですが、「それは自分の仕事ではない。誰かがやってくれる。」と思うとなかなか進まないものです。ほんの少しでも周りの様子を見て、自分にできることはないか考えるだけでも、行動は変わってきます。自分も、周りの人も幸せになれる様、主体的に行動ができる矢向の子どもを教職員一丸となって、大事に育ててまいります。